

第五次国有林野施業実施計画書

(安芸森林計画区)

計画期間 [自 平成30年4月1日]
[至 平成35年3月31日]

四 国 森 林 管 理 局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、 伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法 及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養 <small>かん</small> タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養 <small>かん</small> タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	3
	(5) 更新総量	5
	(6) 保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	10
5	保護林の名称及び区域	11
	(1) 保護林及び緑の回廊の名称及び区域	11
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	12
6	レクリエーションの森の名称及び区域	13
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	15
8	その他必要な事項	15
	(1) 施業指標林、試験地等	15
	(2) 文化財資源備蓄林	18
	(3) フィールドの提供	19
	(4) 森林共同施業団地	20
	(5) その他	20

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域別添1「国有林野施業実施計画図」による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添2「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群		林地面積	取扱いの内容	伐期齢
施業群	スギ分散伐区	913	育成単層林施業 概ね5ha以下	45年
	ヒノキ分散伐区	700	〃 〃	50年
	スギ長伐期	7,577	〃 〃	130年
	ヒノキ長伐期	4,198	〃 〃	100年
	ヤナセスギ長伐期	4,824	〃 〃	200年
	天然ヤナセスギ択伐	500	育成複層林施業	200年
	天然ヤナセスギ長伐期複層林	446	〃 概ね10ha以下	200年
	複層林	1,504	〃 概ね20ha以下	80年
	スギ長伐期複層林	1,407	〃 〃	130年
	ヒノキ長伐期複層林	278	〃 〃	100年
	択伐	2,100	天然生林施業	定めない
	ぼう芽分散伐区	135	育成単層林施業 概ね5ha以下	15年
	施業群設定外	164		
合計	24,745			

注1：施業群設定外は試験地等である。

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積 (単位: ha)

施業群	上限伐採面積
スギ分散伐区	101
ヒノキ分散伐区	70
スギ長伐期	291
ヒノキ長伐期	210
ヤナセスギ長伐期	121
天然ヤナセスギ択伐	定めない
天然ヤナセスギ長伐期複層林	定めない
複層林	188
スギ長伐期複層林	108
ヒノキ長伐期複層林	28
択伐	定めない
ぼう芽分散伐区	45

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林地 以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	—	729 (5)	729				
自然維持タイプ	—	—	—				
森林空間利用タイプ	—	3,411 (27)	3,411				
快適環境形成タイプ	—	—	—				
水 源 かん 涵 養 タ イ プ	スギ分散伐区	53,118	— —	53,118 —			
	ヒノキ分散伐区	48,209	—	48,209			
	スギ長伐期	—	239,890 (1,961)	239,890			
	ヒノキ長伐期	—	158,304 (1,511)	158,304			
	ヤナセスギ 長伐期	—	108,109 (812)	108,109			
	複層林	21,031	23,867 (229)	44,898			
	スギ長伐期 複層林	25,739	40,235 (322)	65,974			
	ヒノキ長伐期 複層林	5,363	10,224 (83)	15,587			
	天然ヤナセスギ 択伐	—	—	—			
	天然ヤナセスギ 長伐期複層林	—	—	—			
	択伐	—	157 (1)	157			
	ぼう芽 分散伐区	—	—	—			
	施業群設定外	—	6,793 (40)	6,793			
	計	153,460	587,579 (4,959)	741,039			
合 計	153,460	591,719 (4,990)	745,179	30,000	775,179	—	775,179
年 平 均	30,692	118,344 (998)	149,036	6,000	155,036	—	155,036

注1：()は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
室戸市	—	22,669	22,669				
安芸市	36,709	130,145	166,854				
東洋町	17,598	52,503	70,101				
奈半利町	6,669	13,433	20,102				
北川村	41,609	171,112	212,721				
馬路村	50,875	200,469	251,344				
安田町	—	1,388	1,388				
計	153,460	591,719	745,179				

注1： 臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	—	—	—	—	131	131
	複層林造成	—	—	—	—	184	184
	計	—	—	—	—	315	315
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	6	6
	天然下種第2類	2	—	—	—	92	94
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—
	計	2	—	—	—	98	100
合 計		2	—	—	—	413	415

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下刈	—	—	—	—	740	740
	つる切	—	—	—	—	7	7
	除伐	—	0	—	—	163	164
	計	—	0	—	—	910	910

注1：「0」は、単位未満の数値であることを表す。

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	開設	谷山	2092、2094	1,500	
		河又	4、5	1,500	
		グドウジ谷	1117、1120	450	
		久々場	45	1,500	
		基幹計	4箇所	4,950	
その他		長滝	2217、2218	1,500	
		朝日出	2201、2202	1,500	
		その他計	2箇所	3,000	
開設計			6箇所	7,950	
基幹	改良	張川	43、44、50、51、民有林内	1,000	
		西の川	36、37、民有林内	1,000	
		美舞谷	32～35、37	1,000	
		伊尾木	25～27、民有林内	300	
		久々場	45、46、民有林内	300	
		横荒	17～21、民有林内	1,000	
		加勝	10～17、民有林内	1,000	
		裏正	7～9、民有林内	1,000	
		河又	3、5	500	
		猿押	1、2	1,000	
		須川	1015～1026、民有林内	1,000	
		野川	1026～1031、1034、1036～ 1040、民有林内	1,000	
		春ヶ谷	1043～1045、1047、民有林	1,000	
		蛇谷	1103～1111、1113	2,000	
		蛇谷大道	1107、1109～1112、 1114	1,000	
		グドウジ谷	1115～1117、1119、1120	1,000	
		竹屋敷	1135、1140～1142、 1147～1150、民有林内	1,000	
		つつじお	1137～1138、民有林内	200	
		笹谷	1141～1144	500	
		曲り谷	1146、民有林内	1,000	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	改良	影地	1130、1131	500	
		笠木	1122～1124	500	
		矢筈	1124、1125、1127、1128	1,000	
		桑の木	1155、1156、1159	200	
		大谷	2005～2007、民有林内	1,000	
		谷山	2090～2092、2094、 民有林内	500	
		亀谷	民有林内	500	
		北亀谷	2018、2021、2023、 民有林内	1,000	
		北亀谷・20線	2020、2021	500	
		東川	2026～2029、2036～2042	1,000	
		中川	2054～2056、2059、 2067～2074、民有林内	2,000	
		和田山	2098～2104、2106	1,000	
		西川	2117～2121、2126～2128	1,000	
		西川・125線	2124、2125	200	
		二の谷	2107、2108、2110	700	
赤度	2128～2131	500			
安田川山	2215～2217、2220、 2223～2227、民有林内	800			
河平	2209、2211、2212、 民有林内	300			
		基幹計	38箇所	31,000	
その他		張川・52支線	52、民有林内	200	
		仙谷	40～42、49、50、 民有林内	500	
		仙谷38	38、48、49	200	
		西の川	37	300	
		美舞谷	32、33	300	
		伊尾木	民有林内	200	
		河又・3支線	3	100	
		猿押	2	500	
		猿押・2支線	2	100	
須川14	1014～1016	200			

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他		須川・20支線	1019、1020	200	
		野川・34支線	1034、1036～1039	200	
		野川・40支線	1029～1031	200	
		池の川原	1023～1027、1037	500	
		西谷	1006～1009、1012	1,000	
		西谷11	1008、1009	300	
		西谷8	1008	200	
		後口山	1002～1005	300	
		後口山・支線	1004、1005	300	
		落合	1044、1046～1048	500	
		普当山	1111	500	
		土ヶ尾	1103	500	
		竹屋敷	1135、1140～1142、1144、 1145、民有林内	1,000	
		柁ノ木	1151、1152	500	
		熊剥	1148	500	
		竹屋敷154	1150、1154	300	
		矢筈	1124	500	
		別役	1171～1174、民有林内	300	
		別役・稲木線 段	1166～1169、民有林内 1157、1160～1162、 民有林内	300 300	
		大道南	1163、1164	500	
		栃谷	2075～2080	1,000	
		久木	2083	200	
		明善	2089	300	
		北平	2093、2095、2097	300	
		亀谷	2014～2017	400	
		亀谷・14線	2014～2015	200	
		北亀谷	2021、2022	200	
		大戸山28	2027、2028	400	
		雁巻	2029～2033、2035	700	
		影地山	2045、2046	300	
		影地山・46線	2046、2047	100	
		柴木屋	2038	100	
		東川・50線	2043	200	
	小屋敷	2052～2054	300		

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	改良	小屋敷・52線	2052	100	
		宝蔵山	2118～2122	500	
		赤度・130線	2130、2131	200	
		西又東又	2127～2129	600	
		汗谷	2057～2060	300	
		槇の谷	2238、2239、2241、 2242、民有林内	300	
		長滝	2216～2218	300	
		北栃谷	2232、2235	500	
		神山	2227～2230	800	
		神山・230線	2230	100	
		奥安	2224、2225	500	
		七々川	2205、2206	300	
		七々川・205線	2205、民有林内	100	
		猿押	2244	500	
	その他計	59箇所	21,300		
改良計			97箇所	52,300	
合計			103箇所	60,250	

4 治山に関する事項

位置 (林班)	区分	工種	計画量
1、2、3、10、11、12、13、34、35、36、37、38、39、40、42、1001、1002、1005、1015、1018、1024、1025、1026、1102、1105、1107、1109、1112、1121、1122、1123、1125、1126、1127、1158、2012、2019、2052、2053	保安林の整備	その他	485.73ha
		計	
[5]、[13]、[19、21]、[51、52]、[1003]、[1016、1017]、[1024、1031]、[1034、1036]、[1129]、[1148、1149、1150]、[2015、2017] [2024、2027]、[2029、2030、2032、2033、2035]、[2038、2039、2050]、[2053]、[2074]、[2078]、[2088]、[2092、2095]、[2108、2110]、[2117]、[2120]、[2210]、[2223、2230]	保全施設	溪間工	24箇所 (197.91ha)
		山腹工	12箇所 (8.38ha)
[5]、[17、19、21]、[32]、[1003]、[1024、1026]、[1034]、[1102]、[2004]、[2015]、[2052]、[2110]、[2225]		計	27箇所 (206.29ha)
		保安林管理道	
計	保安林の整備	その他	485.73ha
		計	
	保全施設	溪間工	23箇所
		山腹工	12箇所
		計	27箇所
保安林管理道			

注1：林班[]の区分は、事業評価の地区単位。保全施設の計は、溪間工・山腹工で重複する箇所は1箇所として集計した。

注2：災害復旧等緊急を要する場合には、計画箇所以外においても実行できることとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名 称	新・既	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
希少個体 群保護林	<small>せんぼんやま</small> 千本山天然 ヤナセスギ (遺伝資源)	既	178.83	2067に、 ぬ、 2112へ、 2113い、 2114い、 へ	樹齢200～300年の 天然ヤナセスギを 主体とする林分で あり、天然ヤナセ スギの遺伝資源を 保護。
	<small>せんぼんやま</small> 千本山人工 ヤナセスギ ・ヒノキ	既	23.90	2112ろ	大正11年に植林さ れたスギ・ヒノキ の人工林であり、 隣接する天然ヤナ セスギと比較しな がら、ヤナセスギ の造成技術の発展 と遺伝資源の継承 を図る。
	<small>がんまきやま</small> 雁巻山ヤナ セスギ(遺伝 資源)	既	20.98	2031ろ	樹齢200～300年の 天然ヤナセスギを 主体とする林分で あり、天然ヤナセ スギの遺伝資源を 保護。
	<small>にしのこうやま</small> 西ノ川山ト ガサワラ(遺 伝資源)	既	7.88	35ろ	紀伊半島と安芸地 方にのみ自生する 希少な樹種である トガサワラの遺伝 資源を保護。
	<small>やなせ</small> 魚梁瀬トガ サワラ(遺 伝資源)	既	16.02	2065ほ	
	<small>やすだごうやま</small> 安田川山ト ガサワラ(遺 伝資源)	既	4.31	2227へ	

種類	名 称	新・既	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
	よこあれやま 横荒山モミ ・ツガ(遺伝 資源)	既	81.20	18い	地域的にまとまって生育しているモミ・ツガの遺伝資源を保護。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

名 称	新・既	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林 小 班)	特 徴 等
四国山地緑の回廊・剣山地区	既	8	1,337.20	19～21全、 22ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、 り、ぬ、る、わ、 23ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、 ぬ、る、わ、か、よ、た、れ、 28ろ、 29ろ、 30は、 2065い、ろ、は、に、 2066全、 2067い、ろ、は、ほ、へ、と、ち、り、 2111全、 2112い、は、に、ほ、と、 2113い、 2117～2119全、 2124全、 2125全	四国の脊梁に位置する剣山を中心として、東西及び南方面へのびる国有林野において、千本山天然ヤナセスギ（遺伝資源）希少個体群保護林等の保護林を連結することにより、森林の連続性を確保し、貴重な野生生物の移動経路を確保し生育・生息地の拡大と相互交流を促すことを目的として設定。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設 新設	面積 (h a)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設 の概要	施設整備	備考
風 景 林	せんぼんやま 千本山	既設	110.98	2098い、い ₁ 2100は、 2101ろ、 2111に、 2112ほ、と	天然杉 を主体 とする 森林美	育成複層 林施業	木製歩道、便 所 (馬路村)		
				----- 2099は、 2100に、 2101は、イ、 2113い ₁		天然生林 施業			

種類	名称	既設 新設	面積 (h a)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設 の概要	施設整備	備考
風 景 林	のねやまかいどう 野根山街道	既設	157.37	1020は ₁ ～ は ₄ 、 1021ろ、 1022ほ、 1023は、 1024へ、 1027へ ₂ 、ぬ、 1028り、 1029へ、わ、 1030は、 1105ち、 1106は、に 1107に、 1109は、 1110は、 1112ほ、ほ ₁ 、 1114は、 1117ろ、 1120ほ、 1132は、 1159に ₁ 、 1163ろ、 1164ほ ₁ ほ ₂	土佐藩 の参勤 交代路 として 利用し た街道 で道中 に閑所 跡等数 々の名 所、史 跡、伝 説など があり ハイキ ングコ ースと して最 適であ る。	育成複層 林施業	休憩舎 3箇所 便所、東屋 (県)		
				1106に、 1120に、 1126と、 1128は、 1159は、に ₂ 、 1161に、 1162る、 1165へ、 1168は、 1169ほ、 1170は、に		天然生林 施業			

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域
該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (h a)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	野川山複層林	平成4年	3.75	1029と ₁ 、と ₂	複層林施業の推進及び技術の普及を図るための指標とする。
	和田山択伐	昭和43年	44.53	2099い ₁ ～ い ₆	ヤナセ天然スギを主体とした択伐施業体系の指標とする。
		昭和43年	39.15	2099ろ ₁ 、ろ ₂	
試験地	千本山天然更新	大正14年	2.12	2065は	スギを主とする択伐林に誘導する。
	小屋敷山天然更新	大正14年	5.64	2054は、 2055に	
	一の谷山スギ人工林収穫	昭和34年	1.40	2100ろ	現在あるいは、将来予想される施業方法によって施業した場合の成長量及びその他の統計資料を収集するとともに、林分構造の推移を解明する。
	西又東又山スギ人工林収穫	昭和35年	1.32	2128ほ ₁ 、ほ ₂	
	朝日出山高齡人工林成長及び遺伝子保存	昭和38年	3.04	2203に	旧藩造林の成長量を調査、研究するとともに優良遺伝子の保存を図る。
	野川山高齡人工林成長及び遺伝子保存	昭和38年	4.16	1027へ ₁ 、へ ₂	
	西の川山ヒノキ天然更新	昭和52年	6.72	34ろ	ヒノキ天然更新技術の確立と林分構成状態、成長過程等の調査研究を行う。
1.40			34と		

種類	名 称	設 定 年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考
試 験 地	普当山針広混交 林誘導	平成1年	3.16	1112ほ	人工林を活力ある針広混 交林へ誘導するための調 査研究を行う。
	和田山ヤナセス ギ天然更新	平成16年	7.55	2098い	天然スギの純林へ誘導を 図るための天然更新技術 の確立を図る。
	野川山除伐作業 省力化	平成20年	3.39	1025い ₁	除伐作業の省力化による 低コスト育成技術の確立
			5.98	1025ろ	
	第2世代スギ精 英樹(矢筈谷山)	平成25年	0.59	1132い ₆₁	スギエリートツリー(第 2世代精英樹)の人工交 配により生産した苗木を 植栽し、エリートツリー の性能を評価するととも に第3世代精英樹の選抜 を行う。
	第2世代スギ精 英樹(谷山北平 山)	平成27年	0.36	2092い ₁	スギエリートツリー(第 2世代精英樹)の人工交 配により生産した苗木を 植栽し、エリートツリー の性能を評価するととも に第3世代精英樹の選抜 を行う。
	安田川山トガサ ワラ更新	平成27年	4.31	2227へ ₁	紀伊半島及び高知県にし か天然分布がない絶滅危 惧種(VU)であるトガサ ワラの将来に備え個体群 を維持する管理手法の確 立を図る。
	大戸山天然スギ 成長動態観測	平成28年	22.98	2030い ₁	天然スギの長期的な森林 動態の観測を行う。

種類	名称	設定年	面積 (h a)	位置 (林小班)	備考
遺伝子保存林		昭和41年	2.15	2089に	現存林木の優良遺伝子群を保存し、種子補給源として活用する。
		昭和42年	2.83	2089ほ	
		昭和43年	2.50	2222ほ	
		昭和44年	1.69	1028ち	
		昭和60年	2.67	2020と	
		昭和60年	3.09	2053よ	
		昭和60年	3.04	2106は ₁	
		昭和60年	1.85	2106は ₂	
		昭和60年	0.32	2106は ₃	
特別母樹林	雁巻山スギ	昭和47年	20.26	2031ろ	林業種苗法に基づき指定、優良な種穂の採取に適する樹木集団を優良遺伝子群として育成し、種穂の採取源とする。
	千本山スギ	昭和47年	33.22	2067に、ぬ	
			48.61	2114い、へ	
次代検定林		昭和45年	6.38	1136に	林木育種により育成された精英樹系統種苗の遺伝的特性を検定するとともに、当該種苗の地域環境に対する適応性を明らかにして、その実用化と育種事業の効率化を図る。
		昭和46年 ～ 昭和47年	6.65	2227ほ ₁ ～ ほ ₅	
		昭和50年	1.73	2015ほ	
		昭和51年	1.55	9と	
		昭和62年	0.69	8ぬ	

種類	名称	設定年	面積 (h a)	位置 (林小班)	備考
次代 検 定 林		昭和63年	0.53	2120ち内	
		平成2年	1.52	1005わ ₂	
		平成3年	0.99	2095ほ内	
		平成13年	0.70	1016こ ₁₁	
展 示 林	影地山天然林	昭和48年	57.42	2046い、ろ	天然更新。
	宝蔵山産地別	昭和10年	0.14	2117ろ	ヤナセスギ外、スギ 産地別。
モデル 林	水土保全長期 育成モデル林	平成12年	39.76	30ろ	

(2) 文化財資源備蓄林

名称	面積 (h a)	位置 (林小班)	備考
文化財資源備蓄林	87.21	1は ₂ 2ほ 1029よ	文化的価値の高い木造建築物の修復、伝統的建築様式の伝承等への寄与を目指し、大径木の育成・供給を目的とする施業に取り組む。

(3) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
2232い、い ₂	ふれあいの森 「北栃谷桑ノ木山ふれあいの森」	実施主体：馬路村 協定面積：14.92ha
1162に	多様な活動の森 「佐喜浜躍動天然スギ郷土の森」	実施主体：室戸市 協定面積：18.29ha
1020ろ ₁ 、は ₁	遊々の森 「遊YOUの森」	実施主体：奈半利町教育委員会 協定面積：9.54ha
1033い	社会貢献の森 「千ヶ谷森づくり事業」	実施主体：(社)高知林業土木協会 (しこくの森づくりに参加する会) 協定面積：1.52ha
2120ち、2220ち、 2228ち、2230に・ほ、 2231い ₂ 、2232ほ、 2233い・は、 2235は ₁ ・は ₂ ・は ₃	社会貢献の森 「Jパワー地域共生の森」	実施主体：電源開発株式会社 西日本支店 高松事務所 協定面積：121.65ha

(4) 森林共同施業団地

名 称	対象地 (林小班)		面積 (ha)	連携した施業 の内容	備 考
北川村大谷地区施 業モデル団地森林 施業実施協定	民	高知東部森林組合事業地 (56林班ほか)	171.61	間伐、 作業道開設 等	
	国	平瀬山国有林 2002林班 大谷鹿伏山国有林 2003林班 大谷受領山国有林 2004林班	252.97		
北川村島・久江の 上・平鍋地区施業 モデル団地森林施 業実施協定	民	高知東部森林組合事業地 (42林班ほか)	363.08	間伐、 作業道開設 等	
	国	西谷山国有林 1008、1009、 1012林班 揚ヶ谷続山国有林 1010林班 大段徳ヶ谷山国有林 2075、2076林班 北川村官行造林 3、4林班	498.95		
奈半利町須川地区 森林整備推進協定	民	郷分生産森林組合林 (14林班ほか)	86.93	間伐、 作業道開設 等	
	国	須川山国有林 1014、1015林班 奈半利町官行造林 2、3林班	214.78		

(5) その他

森林空間利用タイプのうち、レクリエーションの森等を除く区域の施業方法

位置 (林小班)	面積 (ha)	施業方法
2107ろ	14.57	育成単層林施業
2054ろ、2055は、2062へ、2066へ、2067と、り、 2068ろ、2069ろ、2070へ、2099に、2116た、つ、2117は	78.81	育成複層林施業
2056に ₂ 、2061は、2065に、2068た、2069に、2098に、 2115へ、2116ち、り、ぬ、れ、そ、2118ろ、2131ち、り	67.02	天然生林施業

注：レクリエーションの森等とは、レクリエーション森、ふれあいの森等協定の森林及び施業指標林、試験地等のことである。